

シリーズ 下水道探訪

東京の足元を流れる下水道は、様々な顔を持っています。
ここでは、下水道に関するいろいろな施設等をシリーズでご案内しています。

下水道局では、毎年、雨期に向かう6月を「浸水対策強化月間」と定め、安全なまちづくりにおける下水道の役割を理解していただくため、普段なかなか見ることのできないポンプ施設や建設工事現場の見学会を実施しています。 ※. [ポンプ所施設・建設工事現場見学会の日程は ⇒ こちらをクリック!](#)
また、雨期に向け下水道管の清掃やマンホール・貯留施設等の総点検や、浸水被害が発生しやすい地域にある半地下家屋などへ戸別訪問によるリーフレット配布を行うなど、浸水への備えを呼び掛けています。

今回は、現在ほど下水道の整備が進んでいない時代におきた浸水状況を掲載いたします。





- ◆ 下水道局では、首都東京の都市機能を確保し、お客さまが安全に安心して暮らせる東京を実現するため、浸水対策を推進しています。区部全域において1時間50mmの降雨に対応するために、幹線やポンプ所などの基幹施設の整備を行っています。



◀ 雨水を貯留する下水道管
(和田弥生幹線)

繰り返し浸水被害が発生している地区で貯留管などの整備を進めています。



▲ 新たな幹線の整備(施工中の第二立会川幹線)